

天沼八幡

第59号

天沼八幡神社々務所
〒167-0032
杉並区天沼2-18-5
電話 (3398)2514
FAX (3398)2555

<http://www.amanumahachiman.jp/>

例大祭

八月二十五日(木曜日)

午後二時 子ども神輿合同祓い

午後八時 宵宮祭

神楽殿での奉納

午後二時頃 お囃子

午後六時 舞踊 瑞穂流 音呼ぐ未

午後六時四十五分

和太鼓 粹凌(KIRIN)と、
地元小学生、中学生、高校生他

午後七時半 浦安の舞 (巫女舞)

八月二十六日(金曜日)

午前十時 例大祭

午後三時 発輿祭 宮出し

午後六時 還幸祭 宮入り

神楽殿での奉納

全日 里神楽

相模流四世萩原正義社中



例大祭を迎えて

天沼八幡神社 宮司 鶴岡隆志

四月十四日、熊本を中心とした地震が発生してから百日を越えました。その後も頻発する地震の中で生活を強いられている被災者の皆様にお見舞い申し上げます。訪れたことのある熊本の崩落や阿蘇神社の神門が倒壊した姿は大変悲しいものがありました。どうか早くに鎮静化して復興への道が順調に進みますことを祈念致します。一方杉並区では、街中に選挙のポスターが二度貼られた七月も終わりいよいよ盛夏の季節に入りました。皆様方には平素より当神社を篤くご崇敬下さいまして深謝申し上げます。

いよいよ二十五日、二十六日は例大祭となります。神事を厳修に執り行うのは無論のことですが、大祭は多くの皆様のご協力で運営されており、大神様のご神徳を讃え、皇室の弥栄、国の安寧、氏子崇敬者の平安と隆昌の祝詞を奏上致します。ご協力下さいます皆様に御礼申し上げます。

初日の午後二時から神楽殿にて昨年結成致しました子どもお囃子連が奏楽致します。揃いのはつびをまとうて演奏する姿をどうぞご覧になって下さい。子ども神輿が合同祓いを終え、それぞれの幸所へ向かう際となります。夕方からは神輿会主催の奉納演芸も開催されます。昨年より出演を願った瑞穂流音呼ぐ未の舞踊や、地元の小学生から大人まで出演の和太鼓粹凌の勇壮な音色も境内に響き渡ると思います。その後には、巫女舞を五年目となりました高校二年生の三人が神楽殿で奉奏します。

翌日の宮神輿の巡幸は、氏子域の隆盛と発展の力をお授けに神輿が練り歩きます。どうぞ宮神輿が通過されます際は、門扉や戸を開放してそのお力をご自宅や店舗に招き入れて下さいませようお願いします。

当日が天候に恵まれまして、皆様方が楽しくご参拝できますことと大祭全体が無事故で執行を終えられますよう祈念申し上げます。



神輿会会長挨拶

橋 國太郎

平成七年より総代を務め、二十六年より神輿会のみこし担当部長をお引き受けしておりましたが、この度、水野長太郎会長の後任として、神輿会の会長を拝命致しました。

長きに亘りご活躍されました水野様には心より感謝御礼申し上げます。

また今後より一層皆様のご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

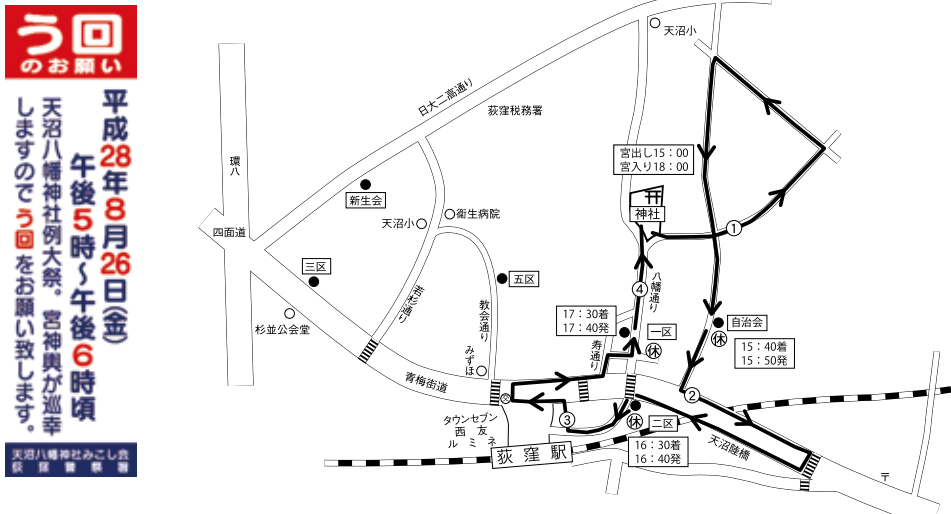
八幡神社では、昨年より祭りの浴衣新調をと、役員はじめ多くの方にご提案頂き、今年になって八幡神社ゆかりのデザインを取り入れ、若いデザイナーさんのご協力のもと素晴らしい浴衣が完成いたしました。

平成に入り初めての浴衣新調ということで、大祭の折、是非皆さまに着装して頂き祭りのムードを高めて参りたいと存じます。

そして、八月の例大祭が素晴らしいものとなります事を願い、八幡神社の益々のご隆昌、地域の皆さまのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

一日、十五日には氏神様へ
お参りに行きましょう

宮神輿巡幸図



平成28年8月26日(金)
午後5時〜午後6時頃
天沼八幡神社例大祭、宮神輿が巡幸
しますので、う回をお願い致します。

神社のゆかた

およそ三十年ぶり、平成の御世では初めて神社名入りの浴衣反物を誂えました。デザイナーは、天沼在住の氏子さんで、デザイナーの松崎美里氏に依頼しました。

「ご祭神一柱「水の神」と、天沼という土地柄の「水」、そして、境内の「クロマツ」からイメージを膨らませ、清らかに自在に流れる水と、凜としなやかに屹立する松を見事に和合せた吉祥文様柄に仕上がりました。



デザイナーさんと反物

仕立て希望の方には、被災地支援の一環として、宮城県南三陸町と、岩手県大船渡市の方に縫製を依頼しております。

本染め、広幅(39cm)で、一反六五〇円で頒布しております。

また、お仕立て等ご相談の方は直接社務所にお問い合わせてください。

祝祭日には
国旗を掲げましょう

節分追儺式 二月三日

立春前日の節分行事は、神社総代はじめ、氏子崇敬者や年男女が集いました。すっかり地域に定着した行事となり、参加者は過去最多の総勢三十四名で、神事後、豆まきが行われました。

また、沢山のお菓子や、干支にちなんで「さるぼぼ」や「くくりざる」などの手作りのまきものも奉納され、ひろい手の子どもたちは大喜びでした。



手作りのさるぼぼ



豆まきの様子

天沼大鳥神社改築及び遷座奉告祭

先々代宮司が、当社境内地に大鳥神社を勧請してお祀りし、昭和五十二年頃には、当社旧本殿ご内陣を下賜し大鳥神社社殿としておりましたが、屋根や柱などに相当傷みがみられ懸念しておりました。昨年度責任役員会で改修、または新築の検討をいたしました結果、費用、工事作業、両面において新築が相当と決定。

平成二十七年六月に発注し、平成二十八年三月に大鳥神社新社殿が竣工いたしました。

三月二十三日夜 遷座祭

三月二十四日十一時 ご社殿竣工遷座奉告祭

参列者二十一名

当社責任役員三名、氏子総代九名

灯明講員 荻窪北口駅前商店会より一名

天沼八幡通り商店会より一名

熊手組合より一名、設計・施工担当

(株)松澤建設二名、(株)新生建築三名



新社殿搬入



遷座奉告祭



祝天沼大鳥神社竣工

神社総代 平成二十八年年度より任期三年

責任役員(四名)

水野長太郎、中根 清一、関根 茂

関根 信子(新任)

総代(十三名)

木村 健二、橘 國太郎、井上 和英

佐々倉續男、平塚 嘉一、関根美代子

齋藤 敬子、村山幸喜司、今村 幸一

齋藤 栄吉、國保 恵昭、長谷川昌邦

佐藤 栄吉



責任役員就任挨拶

関根 信子

私は、杉並区で生まれ育ち、関根家に嫁いで早や五十年近く経ちました。

嫁いだ頃から、夫の運転で両親と、子どもたちは都合のつく限り、毎月一日の早朝の朔日詣りを欠かさなかったことを懐かしく思い出します。敬神の念篤い義父母からの教えを守り、現在は毎月一日十時からの月次祭に参列しております。

夫が父から受け継いだ神社総代もなかなかお役に立てず申し訳なく思っております。たところ、私自身にと宮司様からお話があり、女性の身でお受けしてよいものか悩みつつも、平成十六年より総代をお引き受けしております。さらに、このたび責任役員のお話がありました時は、正直申しまして大変責任を感じ不安でございました。

けれども、氏神様や、関根家の祖霊の指導と受けとめ、また五代目となる息子にも励まされ、謹んでお受けいたしました。微力ながら、真心こめてつとめたく存じますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。

天沼八幡様と皆さまの益々のご隆昌を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

第二回天沼八幡神社皇居勤労奉仕

四月四日(月)～七日(木) 八時～十六時

昨年十一月に宮内庁より許可を頂き、募集開始しました。

今回は、総代、氏子崇敬者、そのご紹介の方、また「初参加」の方を優先しましたが、皇室への崇敬の念篤く、すぐに三十名の定員となりました。

皇居三日間、赤坂御用地一日間の奉仕で、主に清掃、草取り、見学などでした。

畏れ多くも、皇居では天皇皇后両陛下のご会釈、赤坂御用地では皇太子殿下のご会釈を賜りました。



皇居勤労奉仕記念
社 赤坂御用地
平成28年4月5日
桜咲く園遊会場

初参加(50代女性)の方の感想

「四日間、本当にありがとうございました。貴重な経験をさせていただきました。作業だけでなく、皇居、赤坂御用地、東御苑の美しさ、奥深さを堪能できたこと。そして、何よりも、天皇皇后両陛下のご会釈を賜れた時のこみ上げてくる感情は言葉では表現できないものでありました。参加された皆さんのお人柄にも、学ぶ事が多く、この四日間全てに感謝致します。」

奉仕団参加者名

- 団長 鶴岡隆志・副団長 鶴岡千佳子
- 団員(敬称略) 青木正彦、板垣政昭、板垣れい子、井上和英、井上照美、大川原脩次、大月みよ子、小木典、小田啓樹、神田千枝子、皿田和恵、皿田宏郎、澁谷芳子、清水延子、杉浦良子、橘國太郎、橘和歌子、田中マリ、登内美奈子、中島祥江、林京子、丸山タカ子、宮内貞守、宮内記子、宮内横子、森下芳子、山田智英子、和田聖子

◆夏越の大祓◆

六月三十日(木)十九時より、夏越の大祓式には沢山の方が参列されました。宮司が境内で大祓詞を奏上した後、一人ずつ配布した切麻(きりぬさ)で全員が同時に自祓い。次に長い列を作りそろって茅の輪くぐりをしました。

神事に参加されなくても、「茅の輪のくぐり方」の看板を新調して設置しておりますので、それを見ながら、各々正しくくぐり、参拝されていきました。



青々とした茅の輪
(調布市産の茅と天沼産の竹)



浄闇の神事